

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586013702	科目番号 / Subject code	05860137
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12111_005		
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (健康と医療の安全・安心) / Safety and Security in Medicine and Health		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 伊藤 公成 / Kosei ITO, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 江藤 宏美 / Eto Hiromi, 丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西田 孝洋 / Nishida Koyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西田 孝洋 / Nishida Koyo, 伊藤 公成 / Kosei ITO, 木住野 達也 / Kishino Tatuya, 江藤 宏美 / Eto Hiromi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	koyo-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	歯学部本館7F薬剤学研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-8566		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月?金曜日 13:00-18:00 (LACSで予定を確認すること)、メールでも対応。		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要 な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかかわりを果た すのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。		
授業到達目標 / Course goals	医療とは、人間の健康の維持、回復、促進などを目的とした諸活動を意味する。ここでは、健康の 維持と医療との関わりを正しく理解し、説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	積極的授業参加態度(40%)、レポート(40%)、小テスト(20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前に授業に関するキーワードについて学習する。事後には、いろいろな視点から健康と医療の安 全・安心について考える。		
キーワード / Key word	遺伝、遺伝子組換え、家族、女性、子ども、薬の副作用		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特に指定しない。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	特に指定しない。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	<a href="http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/">http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/</a>		
学生へのメッセージ / Message for students	必携PCを必ず持って来て下さい。定期考査は実施しないので、毎回の出席は当然ですが、課題の提 出などをくれぐれも忘れないようお願いいたします。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション(西田)		

第2回	遺伝子組換え技術（木住野）
第3回	遺伝子と遺伝子発現調節（伊藤）
第4回	遺伝子組換え技術と生物多様性（木住野）
第5回	遺伝子発現調節の重要性（伊藤）
第6回	遺伝子組換え技術と医療（木住野）
第7回	「がん」とは何か（伊藤）
第8回	がん研究の実際（伊藤）
第9回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?ライフイベントと起こりうる危機（江藤）
第10回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?ドメスティックバイオレンスの発生と危機（江藤）
第11回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?生命誕生と新しいメンバーを迎えた家族の危機（江藤）
第12回	現代社会における子ども・女性・家族の危機?さまざまな葛藤と意思決定支援（江藤）
第13回	薬の功罪 1（西田）
第14回	薬害（西田）
第15回	薬の功罪 2（西田）

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修, 選択 / required, elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586014502	科目番号 / Subject code	05860145
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12131_005		
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (科学と技術の安全・安心) / Risk and Safety in Science and Technology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 高橋 和雄 / Takahashi Kazuo, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki, 丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	林 秀千人 / Hayashi Hidechito		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	林 秀千人 / Hayashi Hidechito, 高橋 和雄 / Takahashi Kazuo, 久保 隆 / Kubo Takashi, 田中 俊幸 / Tanaka Toshiyuki		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	医学・歯学・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hidechto nagasaki-u.ac.jp ? (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	工学部流体エネルギー工学研究室 ?		
担当教員TEL / Tel	095-819-2516 ?		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。 ?		
授業到達目標 / Course goals	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心 (科学と技術の安全・安心)」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。 ?		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	レポート, 発表, 講義の理解度により総合的に評価する ?		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心 ?		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	安全・安心工学入門 (古今書院)、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。 ?		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	第1回 安全と安心の基本的な考え方について(林)
第2回	第2回 災害とリスクマネジメントについて(林)
第3回	第3回 安全文化について(林)
第4回	第4回 事故の事例と原因紹介(林)
第5回	第5回 安全安心の意識調査(田中) 安全安心に関する提案のグループ分け
第6回	第6回 安全・安心に関する法律(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ1
第7回	第7回 電気に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ2
第8回	第8回 安全安心に関する提案の発表会(田中)
第9回	第9回 電磁波に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の総評
第10回	第10回 自然災害と安全・安心 その1(高橋)
第11回	第11回 自然災害と安全・安心 その2(高橋)
第12回	第12回 自然災害と安全・安心 その3(高橋)
第13回	第13回 化学物質の安全・安心 その1(久保)
第14回	第14回 化学物質の安全・安心 その2(久保)
第15回	第15回 化学物質の安全・安心 その3(久保)
第16回	予備日

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586028101	科目番号 / Subject code	05860281
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 15131_005		
授業科目名 / Subject	リスク社会を理解する：健康と医療・経済と生活・科学と技術 (経済と生活の安全・安心) / Safety and Security in the Economy and Life		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	丸山 幸宏 / Maruyama Yukihiro		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Target students	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	maruyama_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	経済学部本館530号室		
担当教員TEL / Tel	095-820-6344		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜日 12:30 ~ 13:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	金融リスクの基本的な指標である「ボラティリティ」の意味を理解する。簡単な実験(シミュレーション)を繰り返し、ボラティリティの数字が示すものを感覚的に把握する。		
授業到達目標 / Course goals	LTD学習法を通して学習課題(金融リスク評価法)の理解を深め、論理的思考能力を高める。さらに問題解決能力の向上、ディスカッション・スキルを向上、対人関係スキルの発達させる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	予習ノートおよびグループワークへの貢献度		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回予習課題を出し、それを配布する予習プリントに、マインドマップとしてまとめる。		
キーワード / Key word	金融リスク、確率・統計、資産運用、ボラティリティ、リターン、シミュレーション		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキスト：吉本佳生著、確率・統計でわかる「金融リスク」のからくり、ブルーバックス		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	特に指定しない		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	毎回の出席は必須ですが、予習ノートを提出してもらいますので、課題を確実に読んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回目(12月6日)	ガイダンス：講義の進め方、予習の方法など		
2回目(12月6日)	金融リスクを確率的に考える理由：株価に対する確率的な予想とは？ / カジノと金融市場の違い /		

3回目（12月13日）	金融リスクを確率的に考える理由：2項モデルとは？/ ボラティリティとは？
4回目（12月13日）	短期投資のリスクシュミレーション：現実の株価の変化率の分布をみる/ サイコロで行う短期シュミレーション
5回目（12月20日）	短期投資のリスクシュミレーション：デイトレードでの外資投資と株式投資の比較/ デイトレードのシュミレーション
6回目（12月20日）	リスクとリターンの基本関係：なぜ「正規分布」を想定するのか？/ ボラティリティ自体の変動をどう解釈するか？
7回目（1月10日）	リスクとリターンの基本関係：ボラティリティはリターンと一緒に見るべき？/ ハイリスク・ハイリターンの正しい意味
8回目（1月10日）	現実のリスクとリターンの正体：「損失リスク」を押し付ける金融商品/ リスクがリターンにつながらない原因
9回目（1月17日）	現実のリスクとリターンの正体：金融の世界でのボラティリティの特徴/ 想定最大損失は、真の最大損失ではない
10回目（1月17日）	中長期運用のリスクシュミレーション：モンテカルロ法とヒストリカル法
11回目（1月24日）	中長期運用のリスクシュミレーション：シュミレーションで仕組債のリスクを実感/ 5年後、10年後の価格変動はどうなる？
12回目（1月24日）	精度を高めた中長期のリスクシュミレーション：異なる仕組債のリスクを比較する/
13回目（1月31日）	精度を高めた中長期のリスクシュミレーション：ノックイン債
14回目（1月31日）	想定外の巨額損失が起きる理由
15回（2月7日）	全体の統括
16回（2月7日）	統括結果のプレゼンテーション